

未使用ハードディスクの 領域確保・初期化手順書 (WindowsXP GUI)

領域確保及び初期化は、以下の条件で実施しました。

OS :	ウインドウズXP Pro版
HDD :	Hitachi Deskstar 160GB
ファイルシステム :	NTFS
	ベーシックディスク
作成ドライブ :	D : (HDD)
パーティション :	第一パーティション
圧縮機能 :	利用不可
アクティブ :	必ず設定

(c)Kuni 2004/11

注意事項

- ・この説明書は、バックアップツール B A K x シリーズをご利用頂く皆様の参考の為に作成したものです。
- ・領域確保及び初期化機能は、O S の機能です。作者の作成している機能では有りません。
- ・領域確保及び初期化の詳細については、O S の取扱説明書又は O S 作成メーカーのサポートにお問い合わせ下さい。
- ・この説明書に間違いが有る場合の保証は有りません。作者に瑕疵が有る場合でも、同様に一切の保証は有りません。
- ・この説明書記載事項の複製及び転用を禁止します。
- ・起動ドライブ（ウインドウズのシステムドライブ）の初期化は、起動ドライブと同じインターフェイスで行って下さい。
システムが I D E なら I D E で、システムが S C S I なら S C S I で初期化して下さい。
注意：私の環境では、U S B ドライブとして取り付けた場合でも全く同様に先ドライブと元ドライブの交換によりバックアップ先ドライブからの起動が確認出来ましたが、環境により U S B 上での初期化ではそのドライブからの起動が出来なかったと言う状況も報告されています。U S B 上で初期化する場合は、ご注意下さい。
- ・間違ったドライブに対して処理を行うと取り返しがつきません。
- ・取扱説明書を理解の上、十分に注意をし、処理を実施して下さい。
- ・特に「領域解放・確保」「初期化」「復旧先ドライブの選択」「パーティションの選択」等には特段の注意をお願いします。
- ・以下の画面表示は、ウインドウズ X P の表示をクラシックにした状態です。ウインドウズ X P のデフォルト画面は、もう少し派手な画面となっています。ご利用の環境に合わせてご覧下さい。
- ・初期化が完了しているハードディスクをご利用の場合は、既存のパーティションを削除してから、以下の措置（初期化）を実施する事をお勧めします。

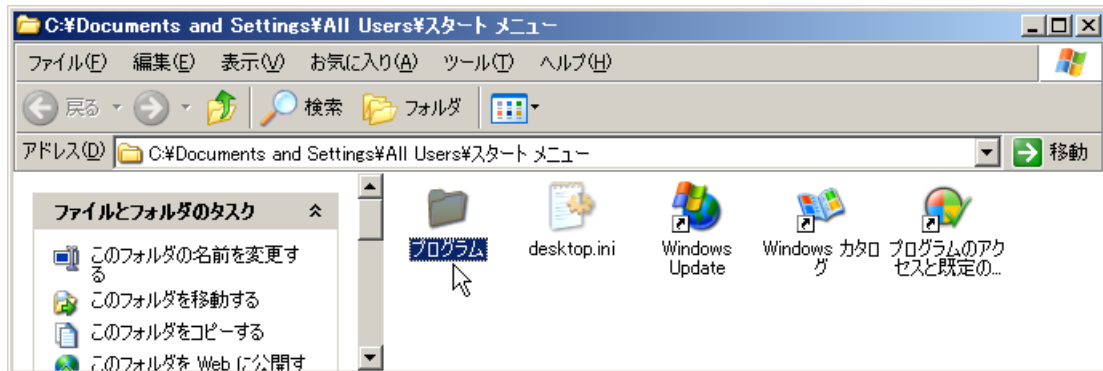
最初に・・・

- ・コンピュータのプライマリスレイブ又は、セカンダリに新規 H D D を取り付けます。
参考：第二ドライブとして取り付けます。
- ・ウインドウズを起動します。

- ・デスクトップの「スタート」を「右」クリックします。



- ・メニューが表示されますので、「開く - All Users(P)」を、クリックします。



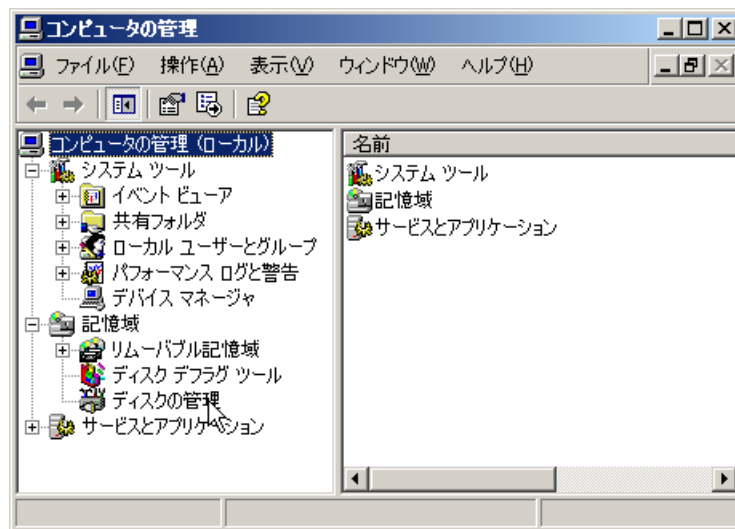
- ・「プログラム」をクリックします。



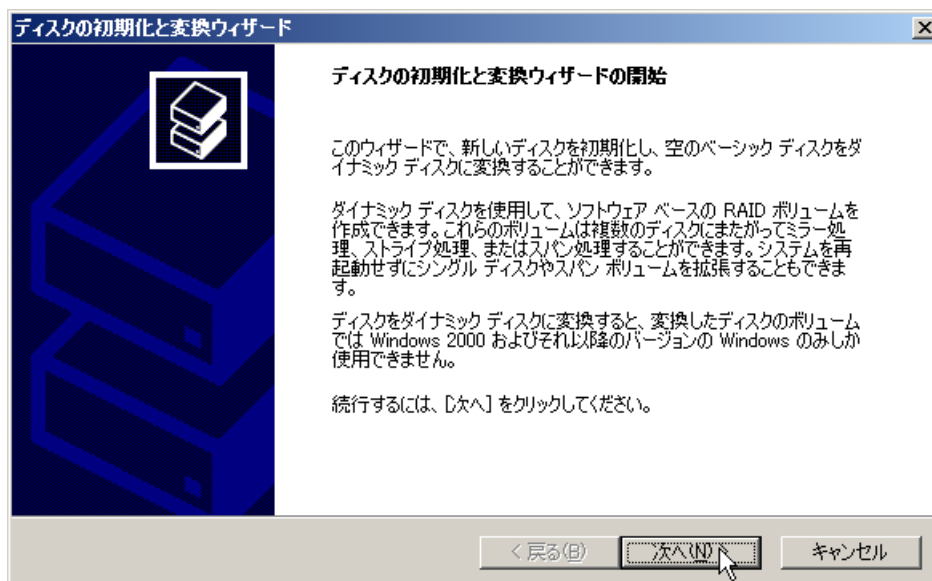
- ・「管理ツール」をクリックします。



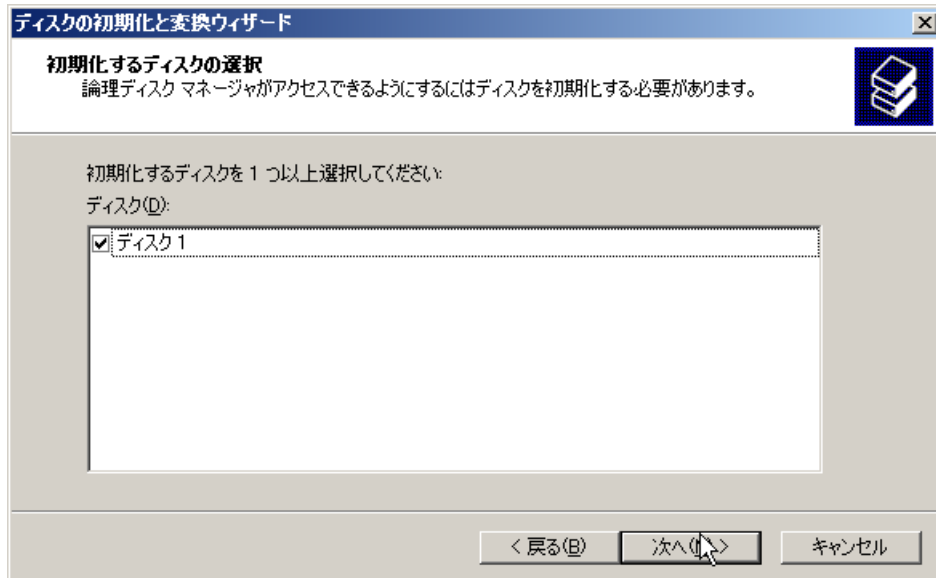
- ・「コンピュータの管理」をクリックします。



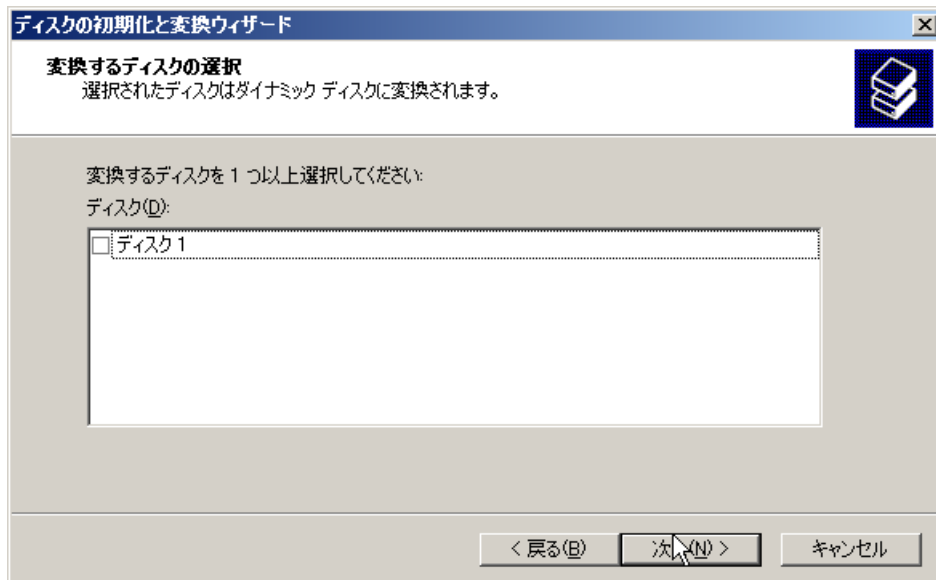
- ・コンピュータの管理プログラムが起動しますので、「ディスクの管理」をクリックします。



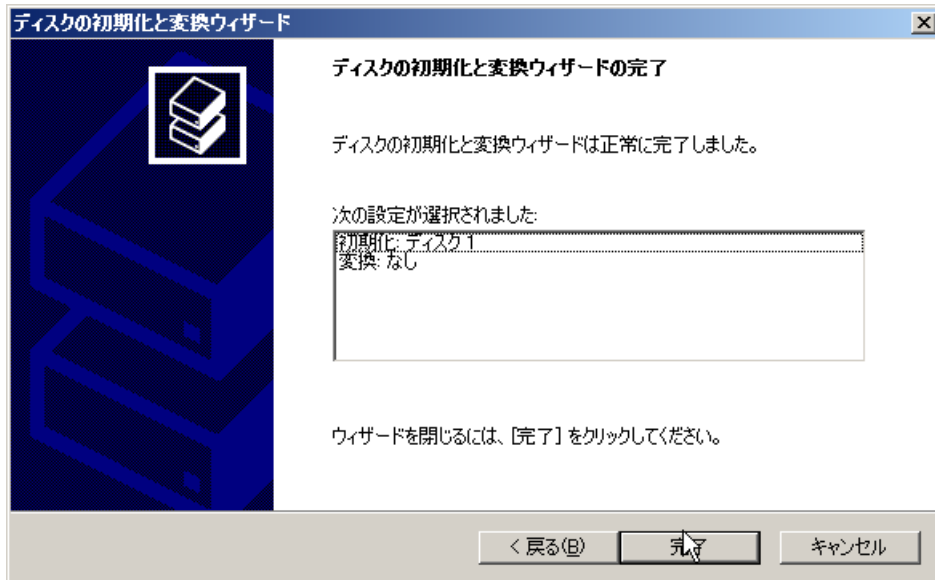
- ・新規 H D の場合、「ディスクの初期化と変換ウィザード」が起動します。
- ・「次へ(N)」ボタンをクリックしてください。



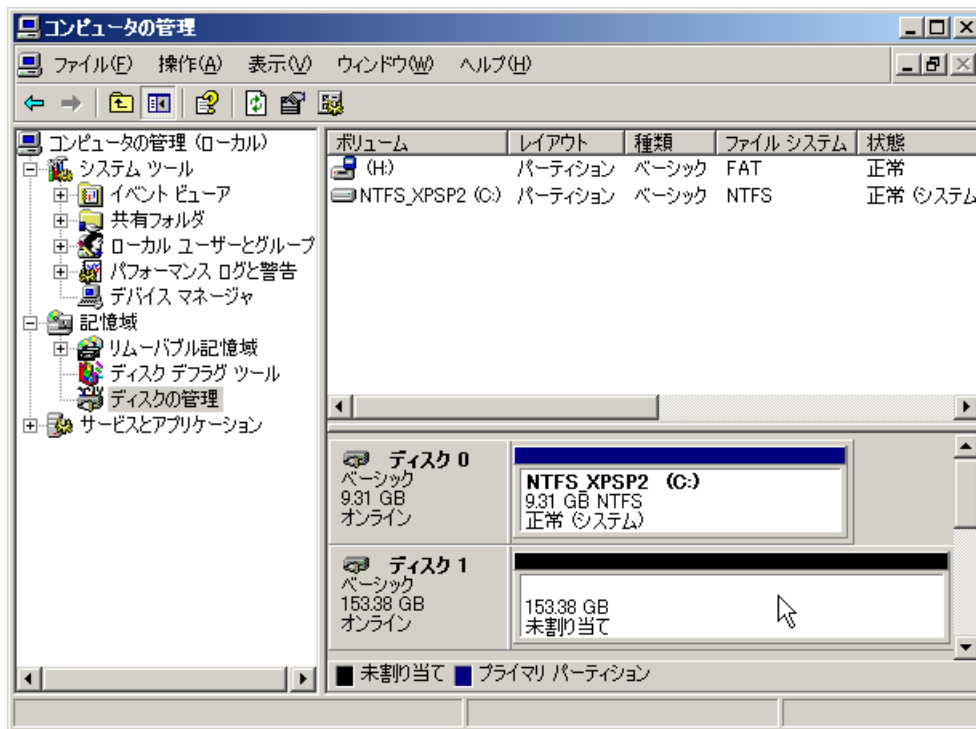
- ・ 未使用 H D D を取り付けた場合、上記画面の様なウィザードが表示されます。画面に従って「次へ >」に進んでください。



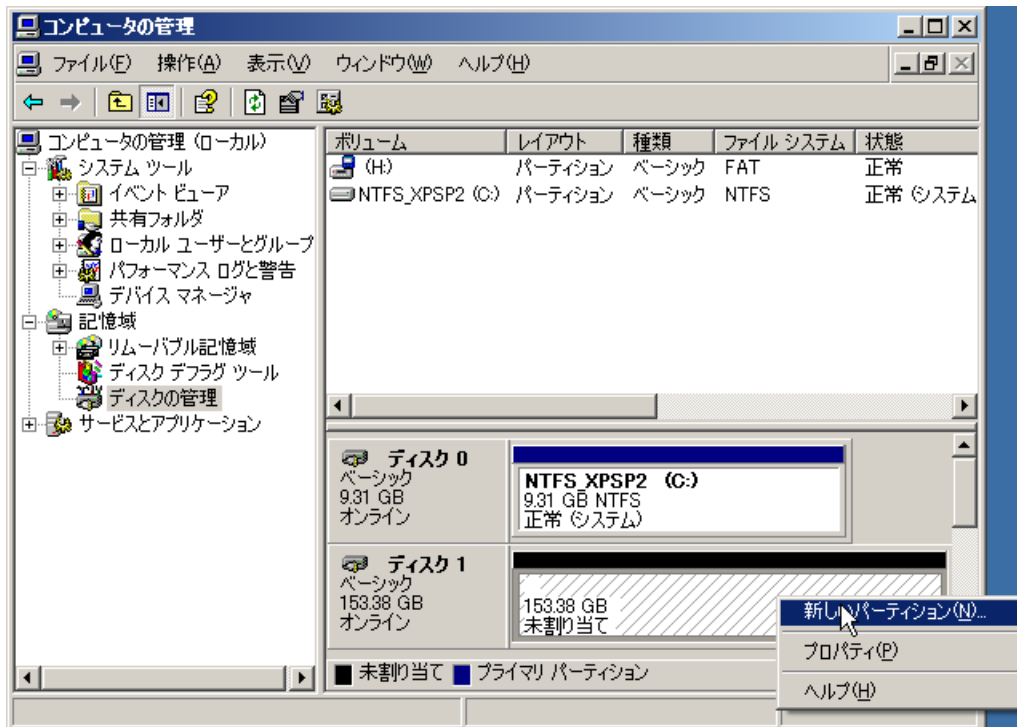
- ・ ダイナミックディスクへ変換するディスクを聞かれますので、指定せずにそのまま「次へ >」へ進んでください。
注意：ダイナミックディスクに変換してはいけません！



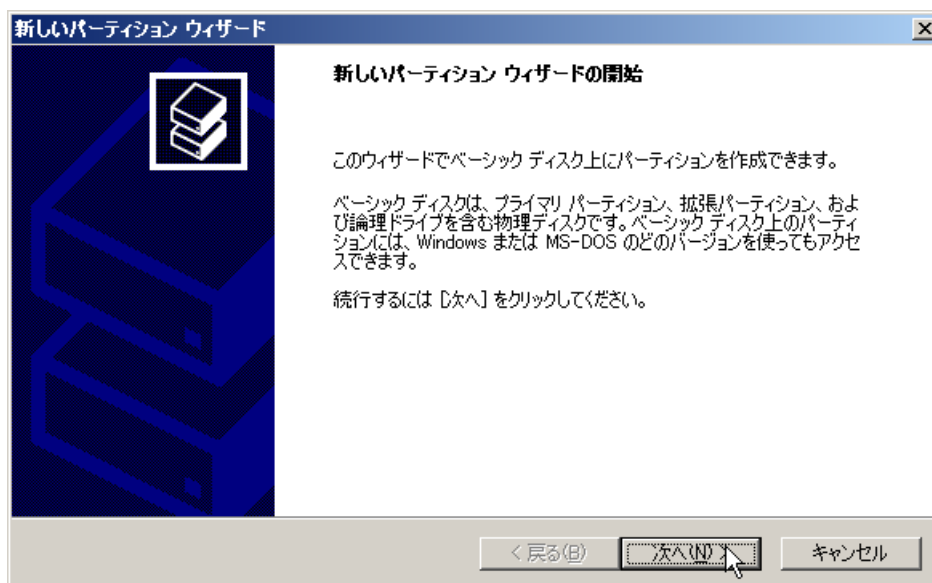
- ・ 確認画面が表示されますので、「完了」をクリックしてください。



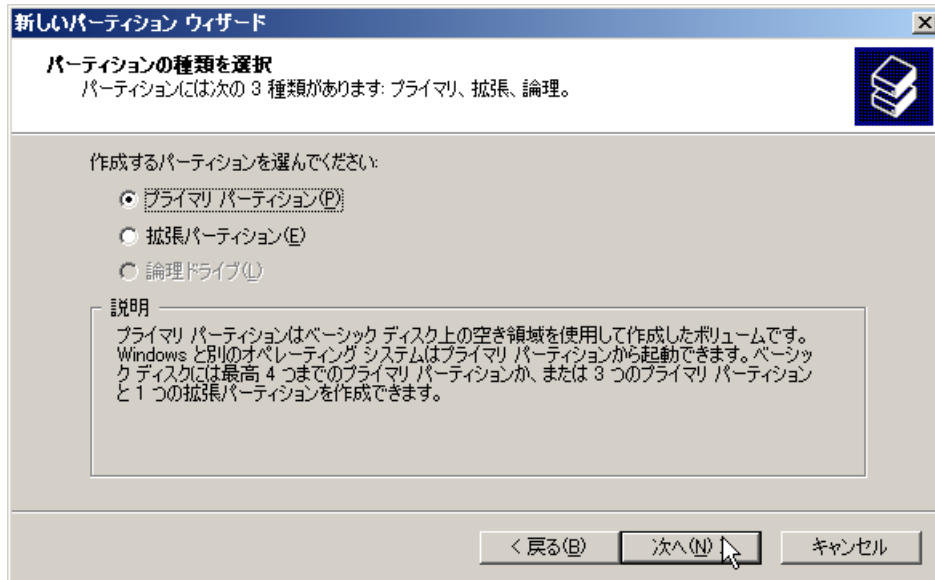
- ・ ディスク 1 として未割り当てのドライブが表示されました。
「ベーシック」ディスクであることを確認して下さい。



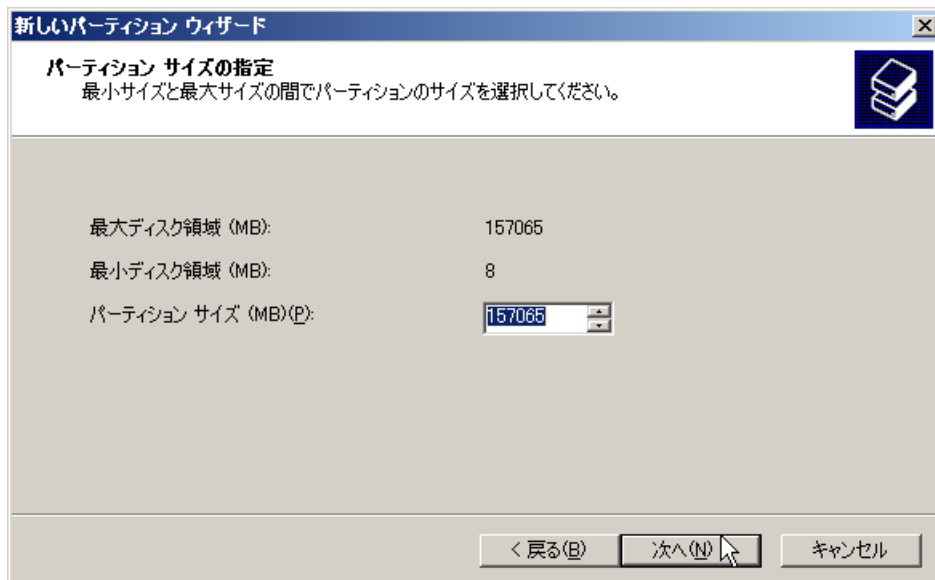
- ・ 該当ドライブを右クリックし、表示されるメニューから「新しいパーティション」をクリックします。



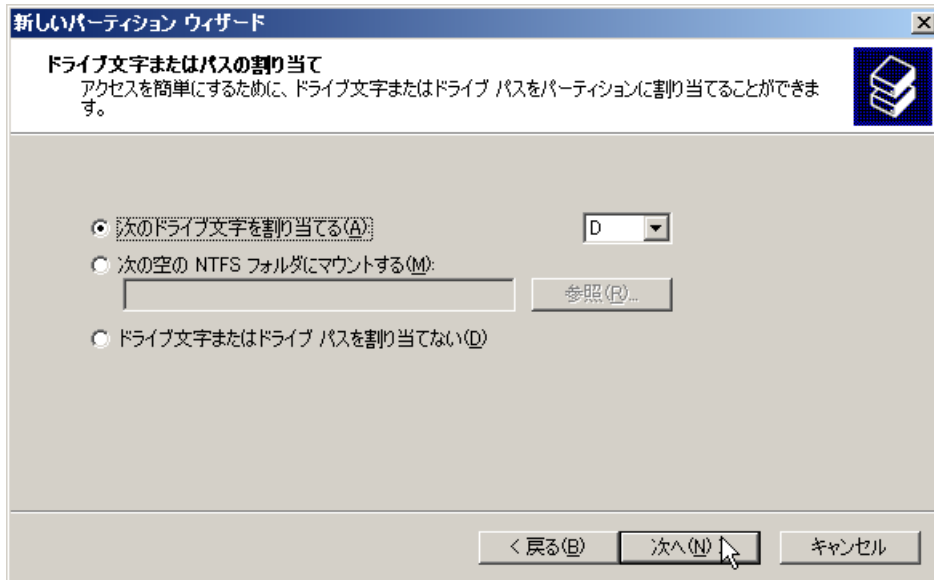
- ・ 「新しいパーティションウィザード」が開始されます。
「次へ >」をクリックしてください。



- ・「プライマリパーティション」を指定し、「次へ(N) >」をクリックします。



- ・パーティションのサイズを聞かれますので、特別な理由が無い場合は、そのまま（全領域）「次へ(N) >」進んで下さい。

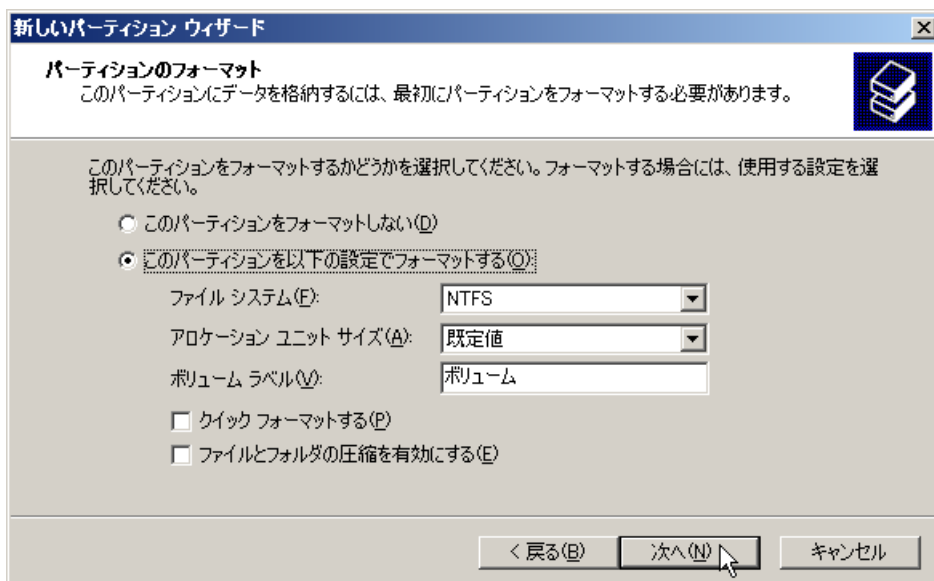


- ・ドライブ文字を割り当てます。

上記では、C : ドライブの次の D : となっていますが、D : ドライブが既に存在する場合等は、異なるドライブ番号となります。

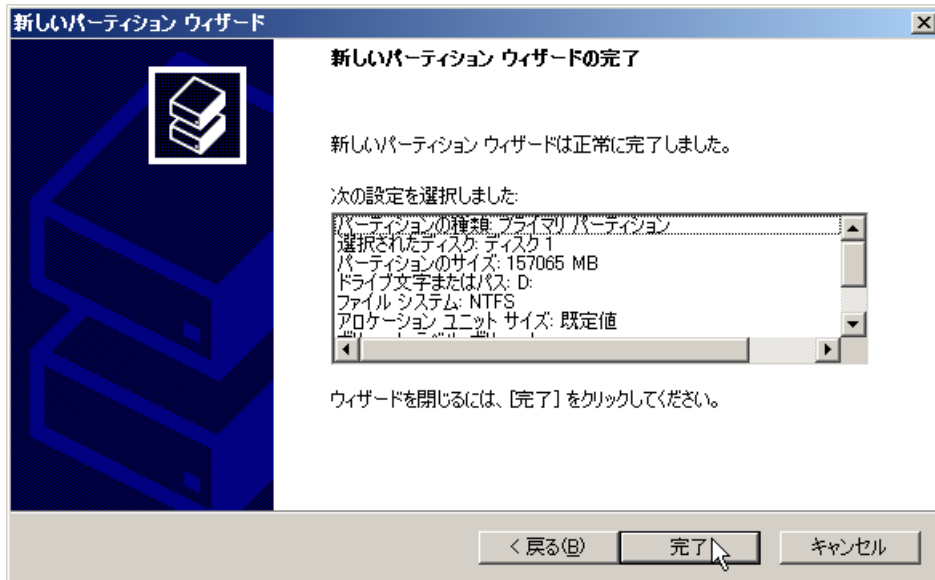
ウィンドウズが割り当てるドライブ番号のままでOKですが、そのドライブが B A K P 等を行う場合の先ドライブ番号になりますので、覚えておいて下さい。

「次へ(N) > 」をクリックして下さい。

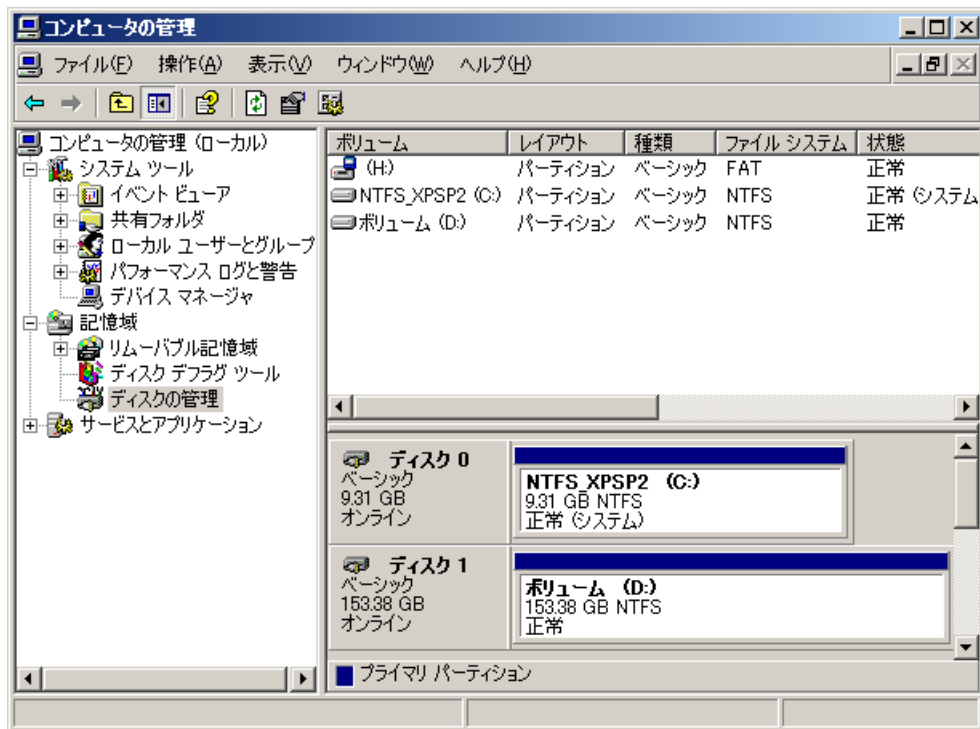


- ・新しいパーティションウィザードが表示されます。

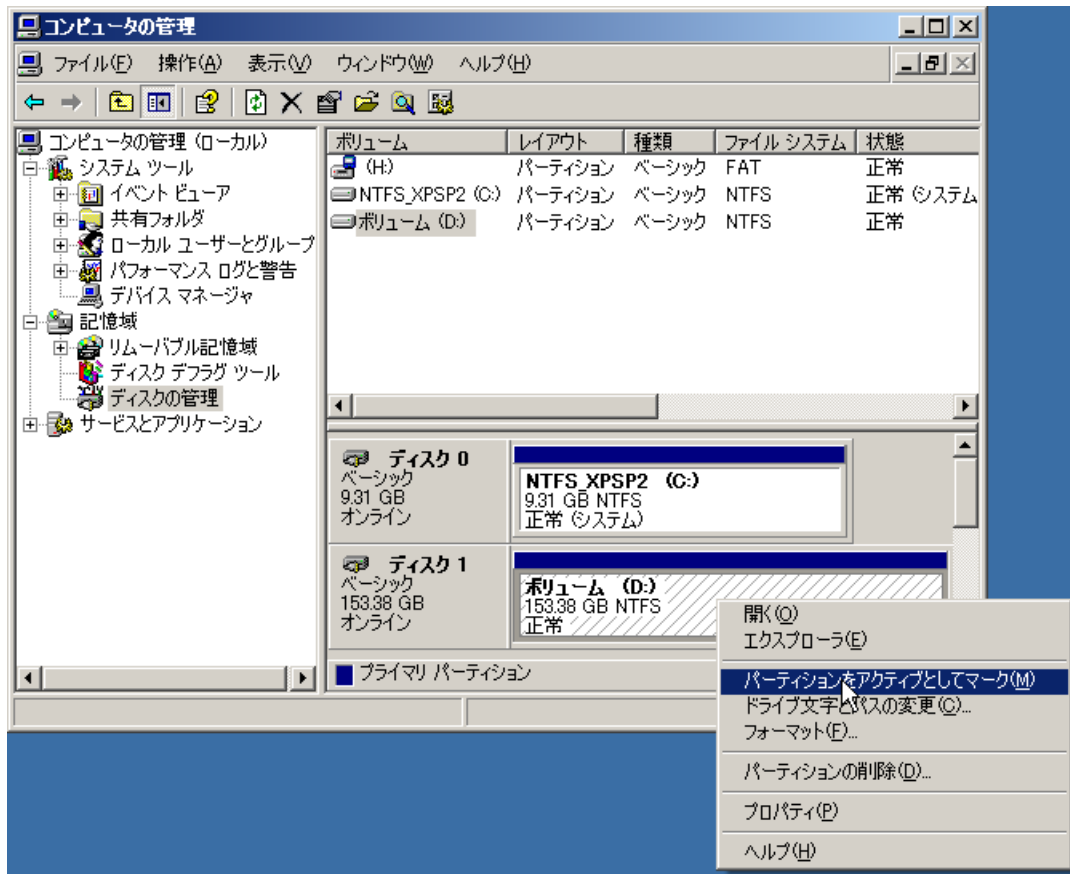
ファイルシステム等を確認の後「次へ(N) > 」をクリックして下さい。



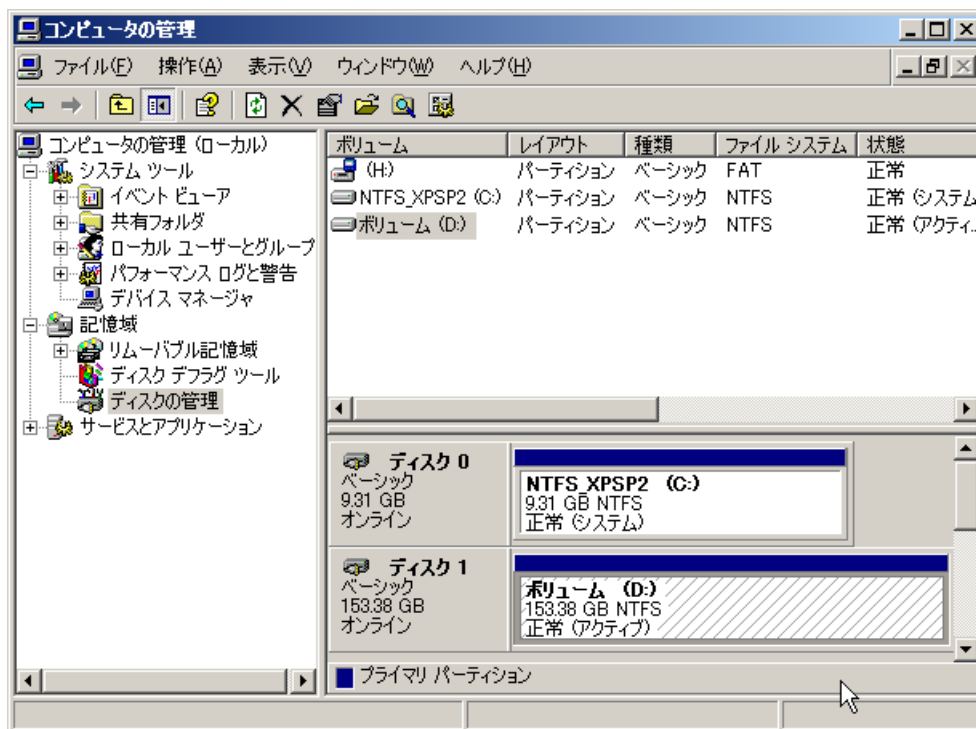
- ・ 確認画面が表示されますので、確認の後「完了」をクリックして下さい。



- ・ 初期化が完了すると、上記の様な画面が表示されます。
該当ドライブに「正常」と表示されている事を確認して下さい。



- ・このドライブからOSを起動できるようにするため、アクティブ化します。作成したドライブの「正常」という文字の所を右クリックします。上記の様なメニューが表示されますので、「パーティションをアクティブとしてマーク(M)」をクリックして下さい。



- ・該当ドライブが「正常」「アクティブ」と表示されている事を確認して下さい。確認後、「コンピュータの管理」を終了して下さい。